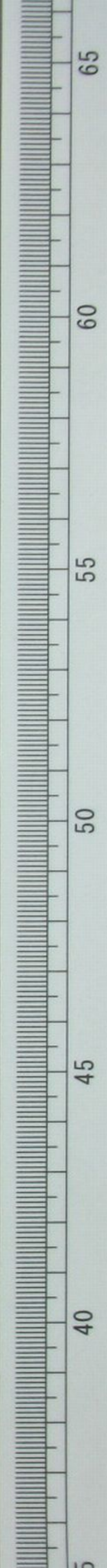




小倉文庫
イ 16
22



門 116
號 22
卷

寶曆十四年

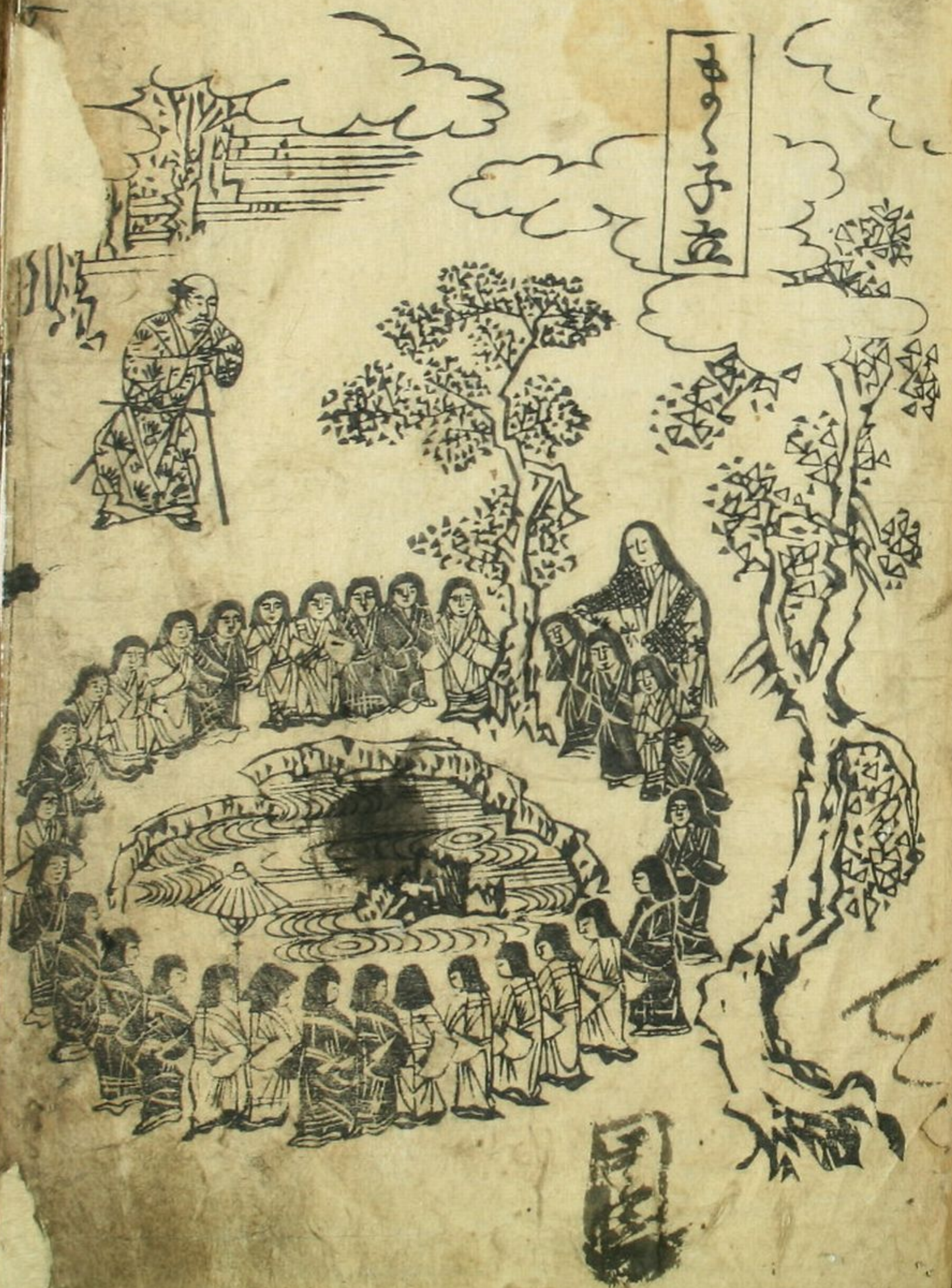
甲申三月廿五日

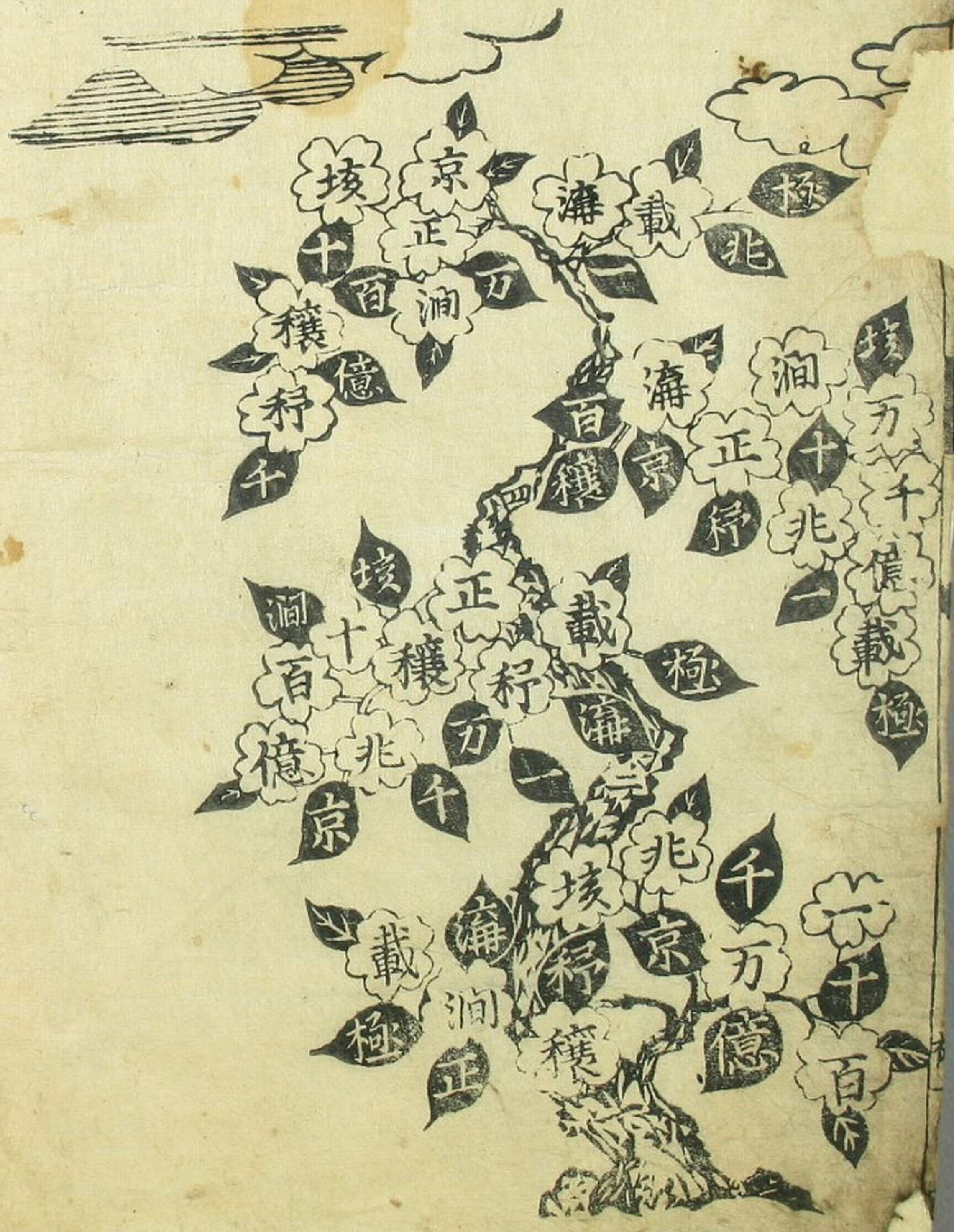
溪川村

長久



寶曆十四年三月廿五日





紫苑記下巻目録

才世三 くらゐ月を町中へさうけり
 才世四 立本のまをきり
 才世五 町つゆり
 才世六 福とささん
 才世七 ひのく
 才世八 日本國中の男女教の事
 才世九 くらゐさん
 才世十 金銀子牧を聞き
 才世十一 くらゐのこ





三流外

一ツ。流が長自入なりは内七流自八所中
 一ツ。寺時ありなり七流自八所中
 一ツ。寺時ありなり七流自八所中
 一ツ。寺時ありなり七流自八所中
 一ツ。寺時ありなり七流自八所中
 一ツ。寺時ありなり七流自八所中

六百廿五分三行を
 法口傳より

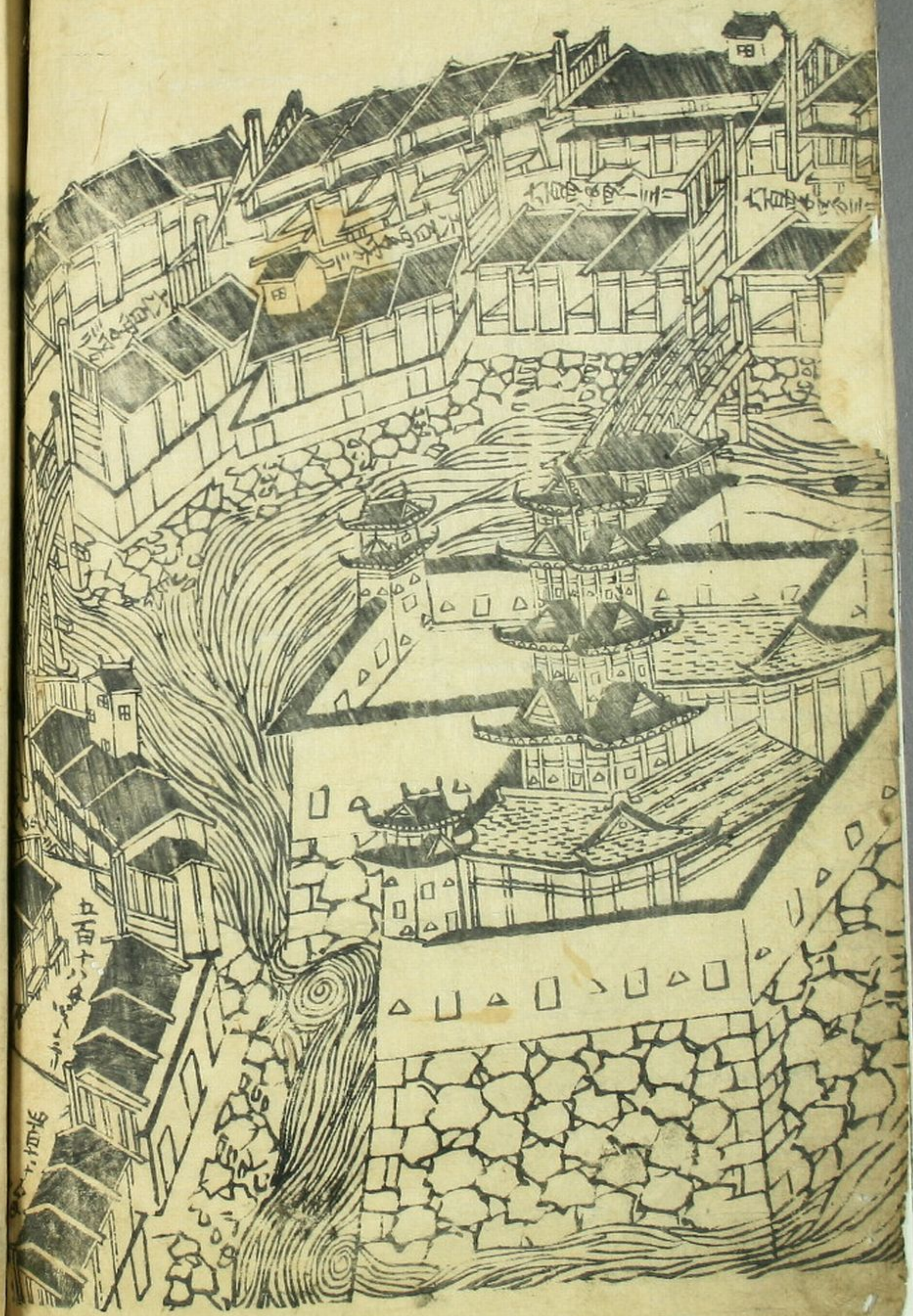
- 才四二 才四三 才四五 才四六 才四七 才四八
- 六里とわん一こころにせむのり
- 開平法の事
- 開平法の事
- 開平法の事
- 開平法の事





水世四

木のうらやまをしらぬかゝいりけりま



法...を四角...ありて
又...ありて下...
小石...より...
か...ありて...
...ありて...
...ありて...
...ありて...
...ありて...



（あつたてあぢ）

東五

はけりし事



ひのけりし事

むいし人のたらしむ
とこもそいれあたま
つふりあるそとやむ
○ちとてと町廿八方定寸七分と



ひのけりし事
ひのけりし事

けよこすあるひのひにきき二尺二寸五分を
 りをけけしてひから入てむらぬ人を
 みる時よあひてハリよあひぬの時いふ
 ことろくぬの二分四りところのいふこと
 むらぬ人のだけちうとあふあるしみる時
 ぬえを二分四りぬえより時よ二百八分こ
 ここところけここところぬえぬ
 時ぬえ六五とくぬの二百八分二尺一寸
 七分とぬえぬをち拾分とぬの三町廿八分
 二尺八寸七分とぬえぬなり

一町	廿五町廿二尺二寸五分	二町	廿七町廿六分
二町	十一町廿一尺七寸二分	三町	十三町廿二尺二寸五分
三町	十一町六分四寸三分	四町	九町十五分二尺六寸
四町	七町五尺二分二寸五分	五町	六町五尺二分四寸三分
五町	六町十尺二尺四寸	六町	五町廿二尺二寸五分
六町	九町三寸二分五分	七町	四町廿七分六寸五分
七町	四町十尺二分二寸五分	八町	三町八分六寸一分
八町	三町四尺二分四寸五分	九町	三町六分二尺二寸五分
九町	三町十尺二分五分	十町	三町五尺二寸

一町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 二町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 三町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 四町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 五町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 六町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 七町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 八町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の
 九町はむらぬのいふ一丈の物をさるる時五尺二寸五分の

二所五十九万二千八百廿五石	二所	二所五十九万二千八百廿五石	二所五十九万二千八百廿五石
二所廿六万七千七百七十九石	二所	二所廿六万七千七百七十九石	二所廿六万七千七百七十九石
二所廿四万七千六百六十九石	二所	二所廿四万七千六百六十九石	二所廿四万七千六百六十九石
二所二十一万二千六百六十九石	二所	二所二十一万二千六百六十九石	二所二十一万二千六百六十九石
二所一万九千九百九十九石	二所	二所一万九千九百九十九石	二所一万九千九百九十九石
二所一千九百九十九石	二所	二所一千九百九十九石	二所一千九百九十九石
二所九百九十九石	二所	二所九百九十九石	二所九百九十九石
二所四百九十九石	二所	二所四百九十九石	二所四百九十九石
二所二百四十九石	二所	二所二百四十九石	二所二百四十九石
二所一百二十四石	二所	二所一百二十四石	二所一百二十四石

右ノ所ノ入りむらの一夫の代とさるる故ニ夫れ代と
はらりしりむらにひまらすす一と此のよ
本もさるる事とさるる事とさるる事とさるる事
あり又さるる事とさるる事とさるる事とさるる事

才世六 新すまきんの子

正月の初めは父母して一ととされしむ
おやたかおとあけしむる故に三月二日
もと又おとあけしむる故に三月二日
おとあけしむる故に三月二日
おとあけしむる故に三月二日
うむ時十五月のうちからおとあけしむる
二百七十八億八千二百五十七万四千四百二十一

法は、おとあけしむる故に三月二日
右の初めは父母して一ととされしむ

青 青 青 青 青 青

生子 二万八千八百一十七
 其母 合三万三千六百一十七
 生子 廿万令千六百一十七
 其母 合廿三万五千二百九十七
 生子 百四十万七千七百九十七
 其母 合百六十四万七千六百九十七
 生子 六千九百七十七万七千六百九十七
 其母 合八千零七十七万二千六百九十七
 生子 四亿八千四百三十二万八千四百三十七
 其母 合五亿六千四百九十五万零八百八十七
 生子 卅三亿八千九百七十九万九千八百八十七
 其母 合卅九亿五千四百六十五万三千四百八十七
 生子 二百七十七亿二千七百九十二万九千八百八十七
 其母 合二百九十六亿八千二百九十七万七千四百八十七

月 月 月

月

生子 子孫行 凡 凡 凡
 子孫行 凡 凡 凡



福す二百七拾二徳八千二百九十七万四千四百合二斗

右の福す二百七拾二徳八千二百九十七万四千四百合二斗

千三百八千四百千二百八千七百二斗二合

右の福す廿尾のしつじま尾。のしつじま一斗二合

〇一里とす廿尾のしつじま尾。〇一町とす廿尾のしつじま尾

〇一町とす廿尾のしつじま尾。〇一町とす廿尾のしつじま尾

右の福す一斗二合

七拾八万八千六百五十四里廿三所一斗二合

力世七

〇一町とす廿尾のしつじま尾

右の福す一斗二合

合五拾三万六千六百七十九百七十九斗二合

右の目録二万二千二百六十九百七十九斗二合

合五拾五万九千二百四十九百七十九斗二合

米一粒といふく一斗といふて廿日といふく一斗といふて

合五万三千六百七十九百七十九斗二合

但年六万粒入つりて一斗といふて廿日といふて

合八拾九石四斗七升の念ゆりの念ゆりの念ゆりの念ゆりの

大豆一粒をひみく一まいにて一日ちりてぬると
のり附一粒に右の千とひみくは但千粒入ぬり

合千七粒ニ右七斗中米不クニ支中粒也

芥子一粒とのみく一まいにて十日のつりり

合五億三千六百七十九粒ニ右二粒ノみく

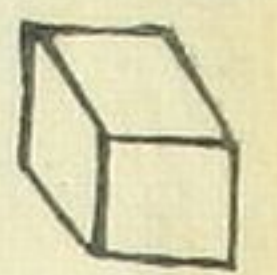
但千四百粒入つりりにてうらりあるとみ時

合一石三斗中米ニ右五斗七粒ニ一斗八粟ぬり

はよ一粒と八斗の五のこひも粒がくし右の寺

志きし又八斗ひみくは千とひみくは千とあり

口ははあり一斗四百粒入つりり一分粒は千とあり



一寸四方六斗中粒入つりり一寸四方の内五斗重
ありゆり六斗中千と上斗二斗りくろぬり

中百万粒入とちりり

○芥子一粒とひみく一まいにて十日のつりり

合五百六十二兆九千四百九十九億五千三百四十二粒

右をまきりてりりりて

百四粒万七千三百七斗中米ニ右五斗ニ一斗八粟

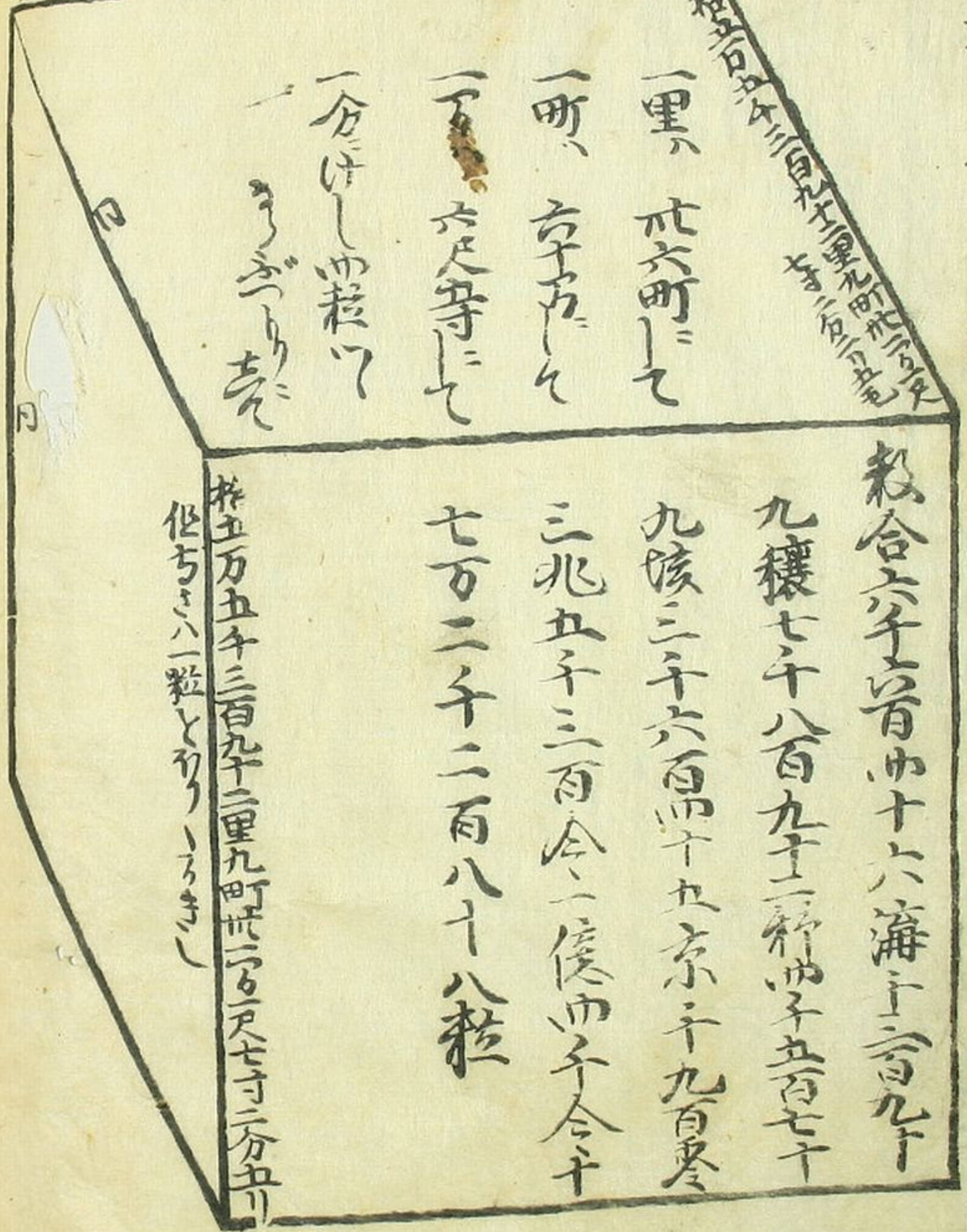
右の千と目附立はよ一と

右斗一万斗九寸二分五厘四方は他六尺五寸五分

よのこもさし右のちりりてし

蘇子一粒とひみくして百廿日のかりに穀用は

蘇子一粒とひみくして百廿日のかりに穀用は



右のまわりのと開きけりて 併あつたふり右の三粒とひみくは

十五里三町一丁六分二寸二分四釐あり

右の余り四十万五尺四寸二分二釐五毛 四方し

右の余り八尺七分二釐五毛 四方し

右の余り七分二釐五毛 四方し

右の余り三分四釐五毛 四方し

右の余り七釐五毛四方を け余り一分七釐五毛 四方を

右蘇子一畝百廿日のかりひみくして百廿日のかりに穀用は
 併あつたふり右の三粒とひみくは

三億七千五百七十一万四千八百令二石五斗五升七斗五釐

力世八 日本國の國勢 男世殺あり

男殺 ○合格九億九千万八千八百廿八人とす

他は億の小束の億にして千万と億とをいふ

女殺 ○合二十九億四千八百廿八人とす

○男女合計八億九千万九千六百四十八人とす

右一人一日ニ其人多しき一日ニ其人多しき時

○二千万四千九百九十九名二千四百名とす

又一年一箇にふりたるは三百五十四日ニ

○八百五十七万二千三百七十九名九千六百名とす

右一人殺す方長り時ハ其多しき日ハ其多しき時

格所世八万六千四百一十分三十四方ニ長りといふ

は一坪ニ三人ノ長りなりトて四十八億九千万九千六百名

八人とす三人にせよれい半万二千三百名は成りなりト

日れい六百四十八万九千六百九と成りけしなりト

くは六百四十八万九千六百九と成りけしなりト

十町可いなりと成りけしなりト

又いふ右ノ男女の殺と大衆の億にして千万と億とをいふ

るなりと成りけしなりト

九里九所廿万一人三寸五分とす

右ノ億とすは其多しき日ハ其多しき時

弁元九 九千九百九十九の事

九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸

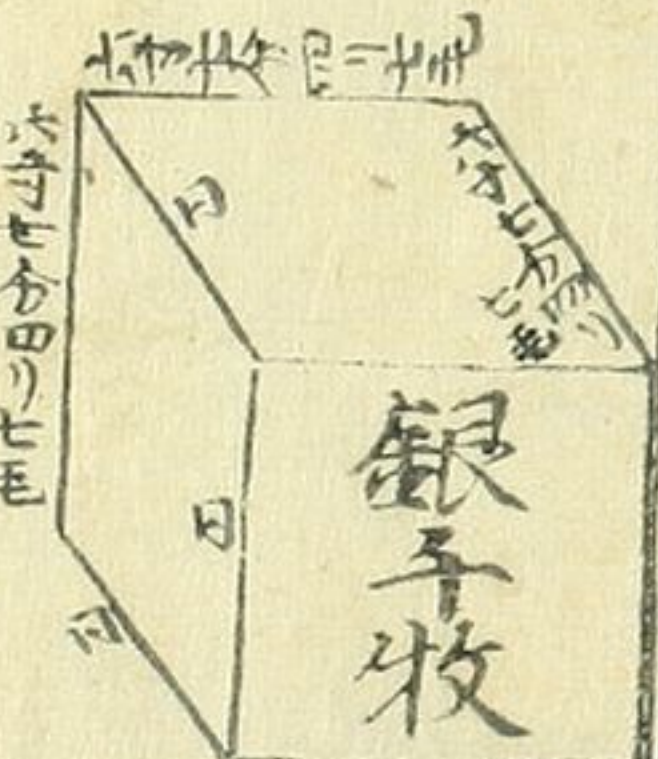
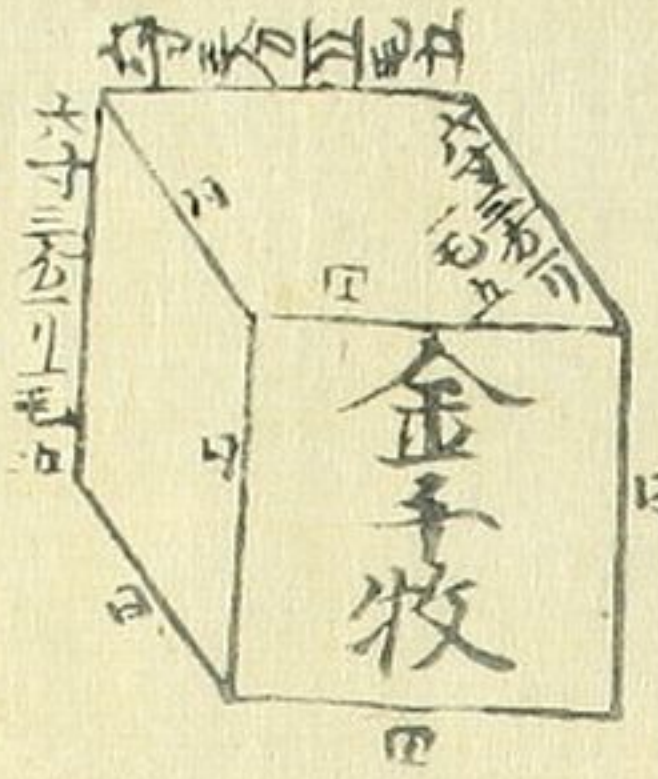
合九億九千七百令令二千九百九十九の事

は九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 八千令令一とと成も九百九十九のりう寸
 同九千九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸

合九十七万二千九百九十九の事

弁元十

金銀千枚の事



は九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 同九千九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸

評殺二百五十二評分二毛五系七忽一ぬ毛と又用立
 の法は銀千枚の重四十三貫同のりう寸を百四寸目
 一と成の事と開立は九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸
 九百九十九のりう寸九百九十九のりう寸

第百十一 きのぬいんのともをけす

きのぬい

七里十町五丁廿三丁 由たのちを中里十町四方廿三丁

けのちの敷千八百とちりひても二天のたふにかひま
てい三丈三人は守ありこしは千八百とちりひの六千四百
八丈とぬいしをたふ守ありてひの九千二百四方廿三
丁ぬいしを六千四方はひひの九百九十九町四方廿三
丁ぬいしを五所しんし山に五里十町四方廿三丁とちりひ
○又ぬまきいごいひつ一丈三寸ありてふひ一丈守六分を
一分は八丈とちりひあつちりひ一丈守六分なり

八丈とちりひひの二丈二尺四寸八分ぬいしは三丈二尺
六寸とちりひの四千九百九十二丈二尺守ぬいしは六丈
五寸にひひの六千四百九十二丈二寸ぬいしを六千九
百にひひの百七所六尺二寸ぬいしぬいしは六丈とちりひ
ひひの二里五町四方二尺三寸とちりひ
九町五入ぬいしぬいしはぬいしはぬいしはぬいしはぬいし

たてぬまき

合三里六町五丁五丁 由たて二里七町六丁五丁

法よりひて一分は五とちりひとちりひとちりひとちりひの
改ありては納とい前

カヤ十三 百五十八

とあけよあふく二ヶあるを七葉のまきと三葉まきと
二あるこれより葉の二つだけいふとあけは三葉
乃まきにて七葉まき三つ入る時三葉三葉まき
し時七葉まきありありめとあけあけは三葉
まき三葉あるを又七葉まき又あけて又三葉まき
に二つ入るまき三つまき

カヤ十三 百五十八

真石あるはひの子六ある付はひ六の子とまきしはて
はひの子とまきあつてはひの子

先 七つひく付まきり 中二つあるまき
又 五つひく付まきりまきりまきりまきり
又 三つひく付まきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり

ハナ六あるまきり

はひ七つひく付まきりまきりまきりまきりまきり
五つひく付まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきりまきり

方中十口 葉師

あけかたよりへて二方面ハツク

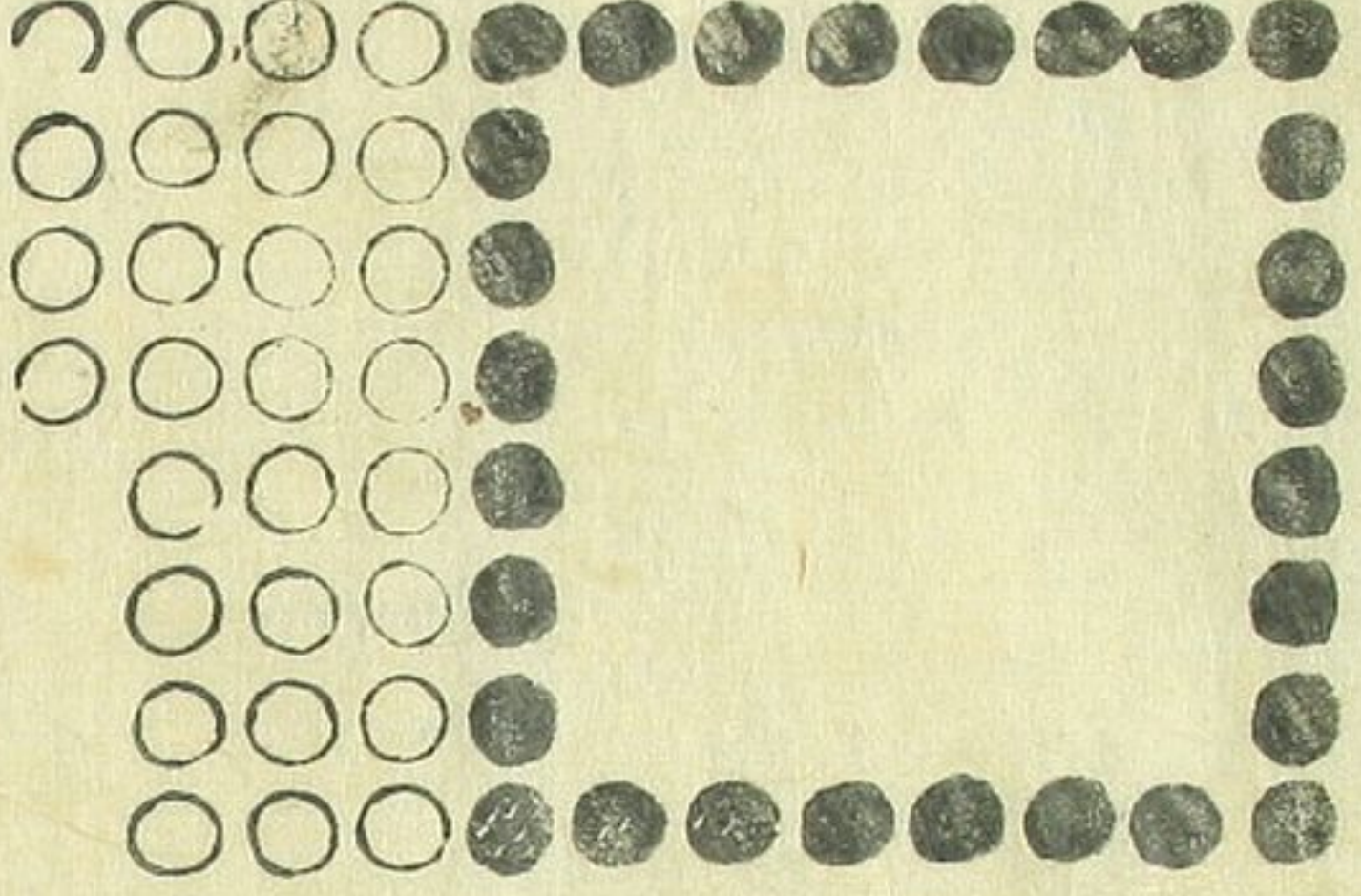
あり母といふかあつかひを

三つあつかひをいふ

中あつかひをいふ

さあつかひをいふ

井あつかひをいふ



あつかひをいふ

あつかひをいふ

あつかひをいふ

五早升

あつかひをいふ

あつかひをいふ

あつかひをいふ

あつかひをいふ

あつかひをいふ

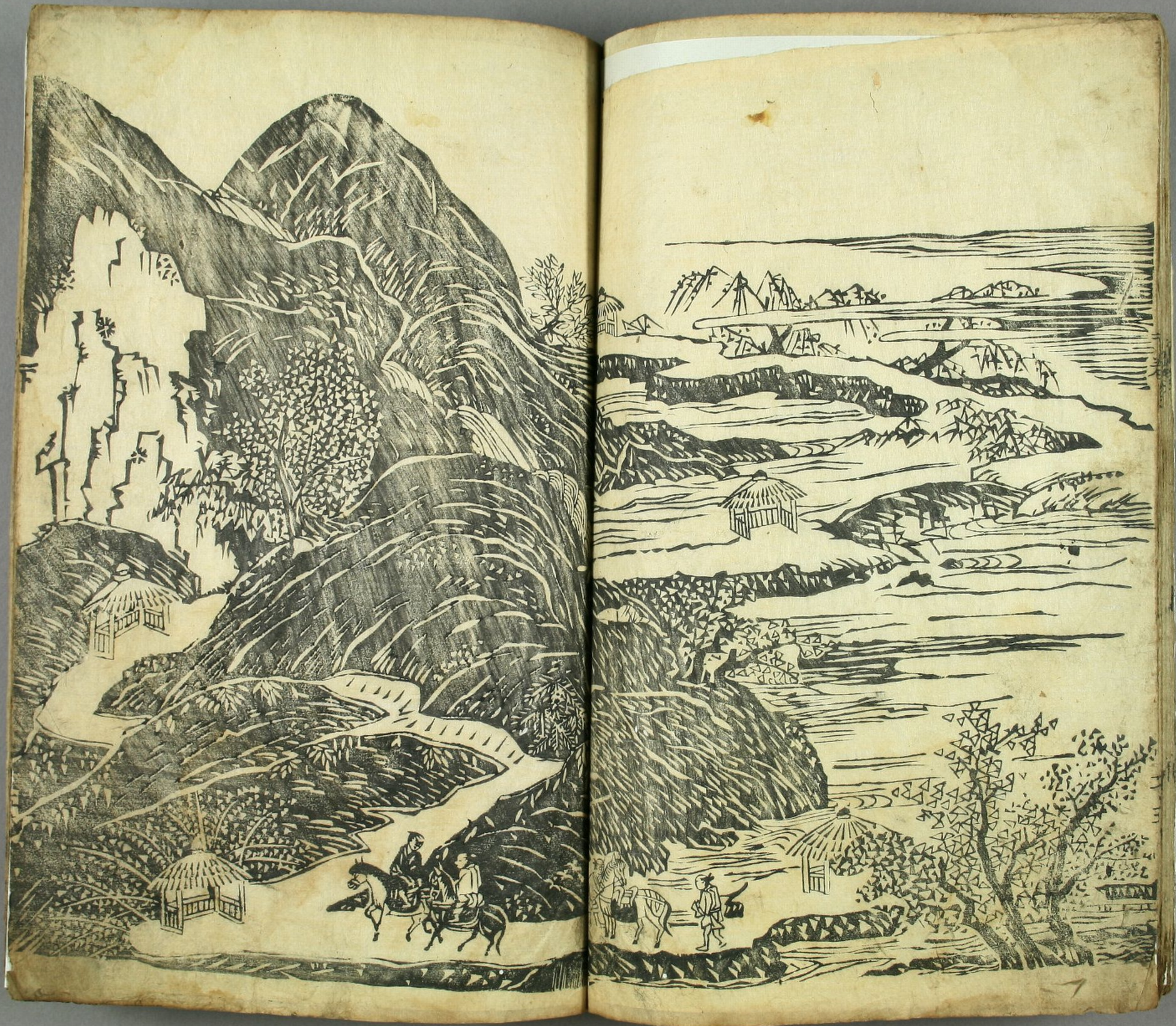
あつかひをいふ

あつかひをいふ

あつかひをいふ

あつかひをいふ

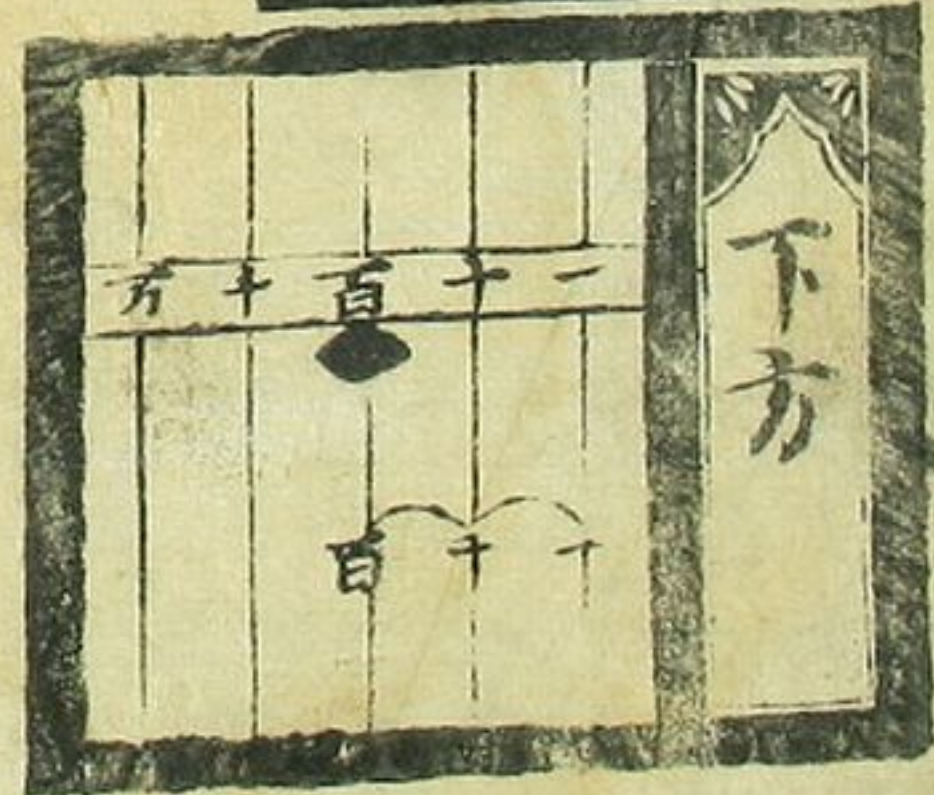
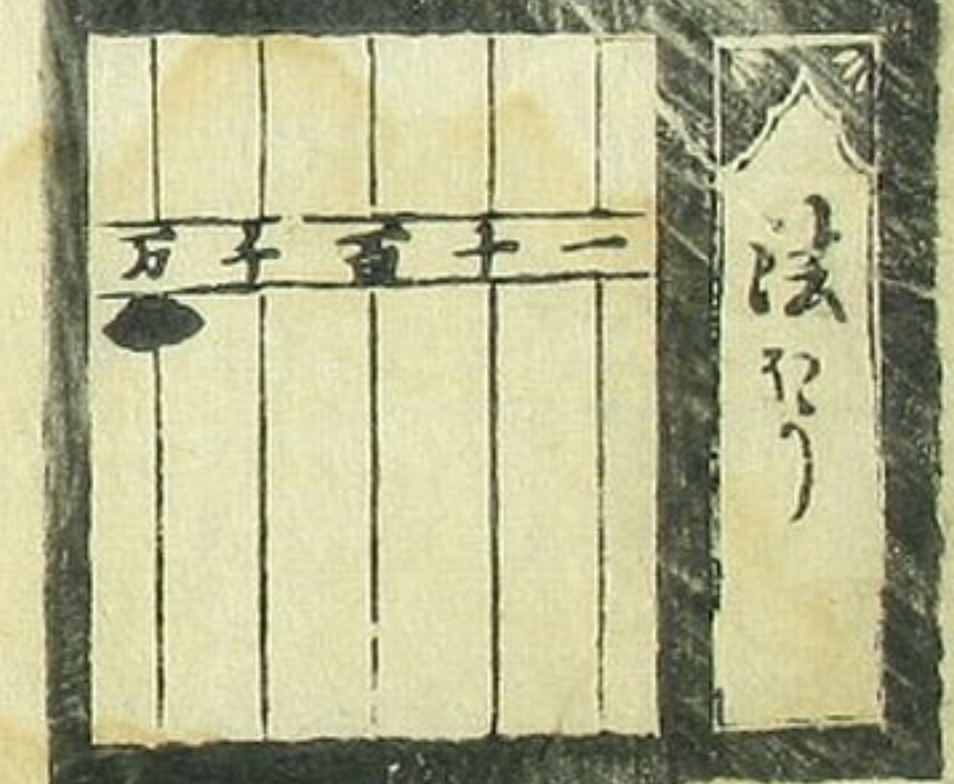
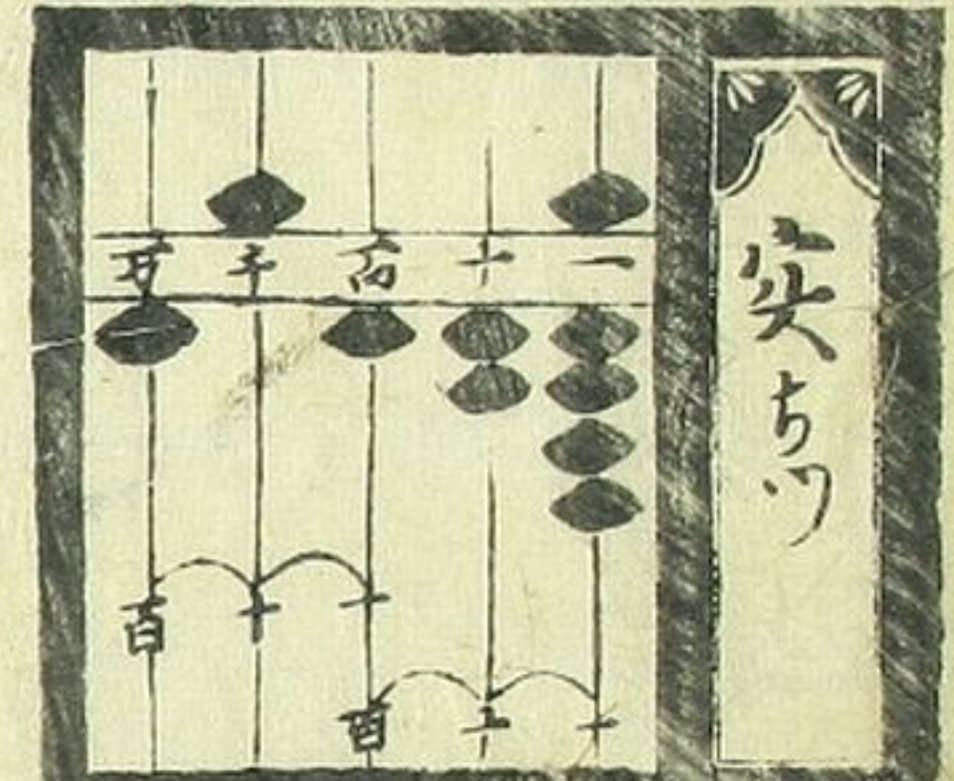
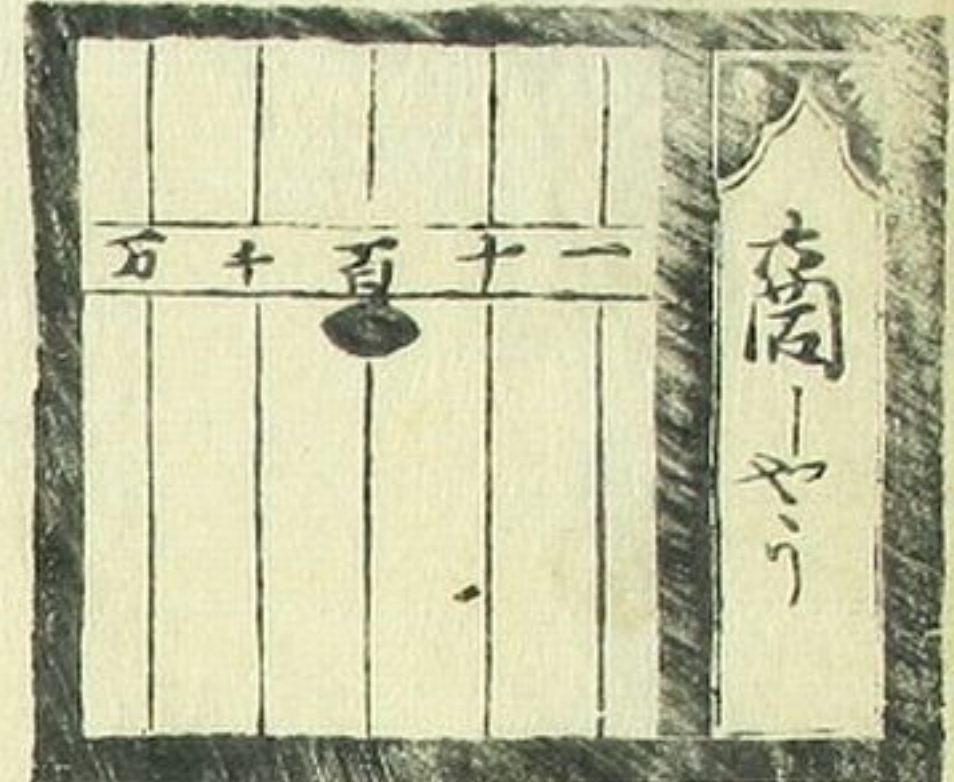
あつかひをいふ



才四十六
開平法

評教 幸方五千百廿九俾あるは四万
て一方ハあるよりあるは二の母
百廿三万四万と云

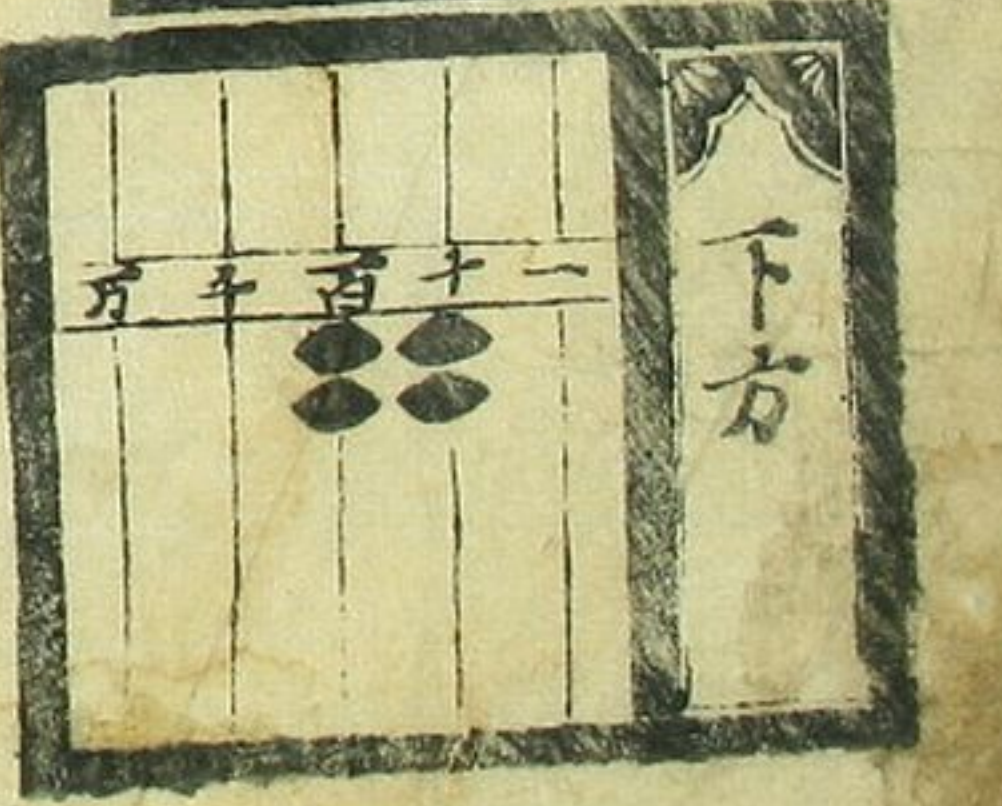
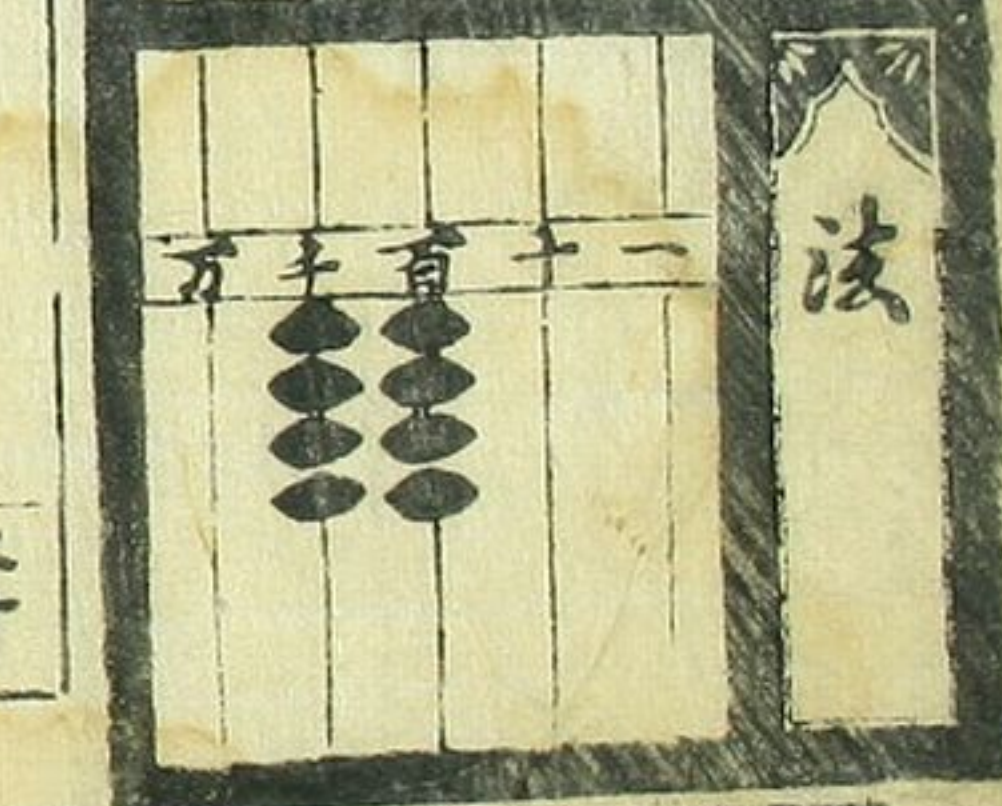
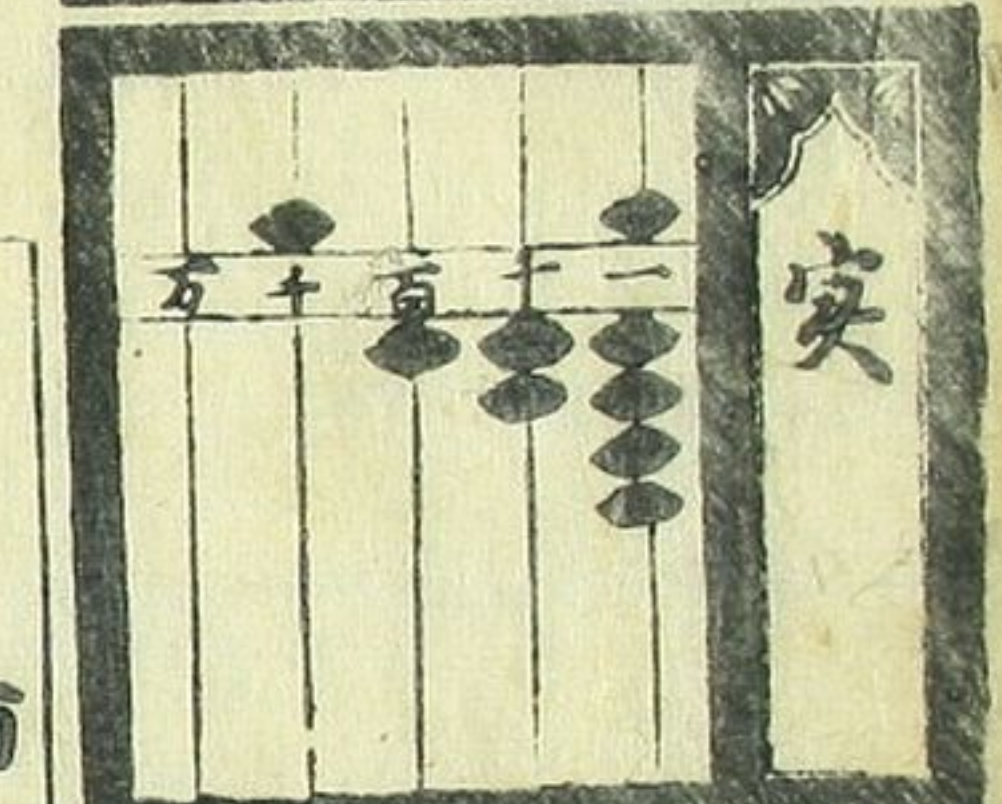
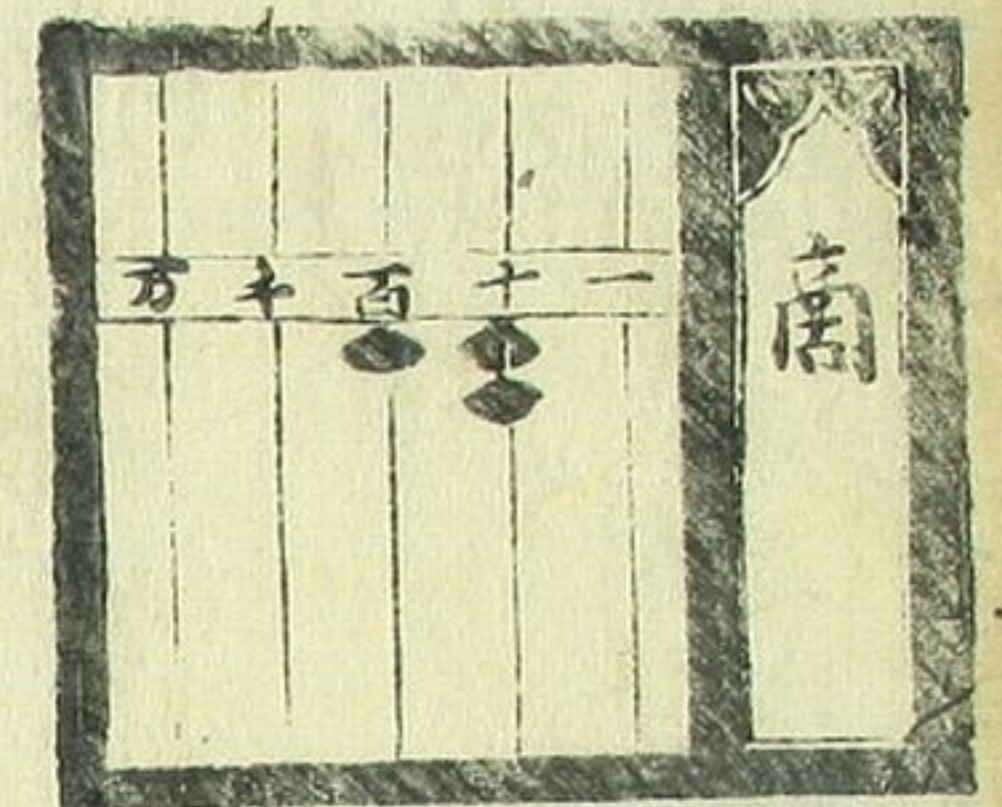
百廿三万	百廿三万
百廿九千	百廿九千
百廿九千	百廿九千



百ち
 百ち
 百ち
 百ち
 百ち
 百ち

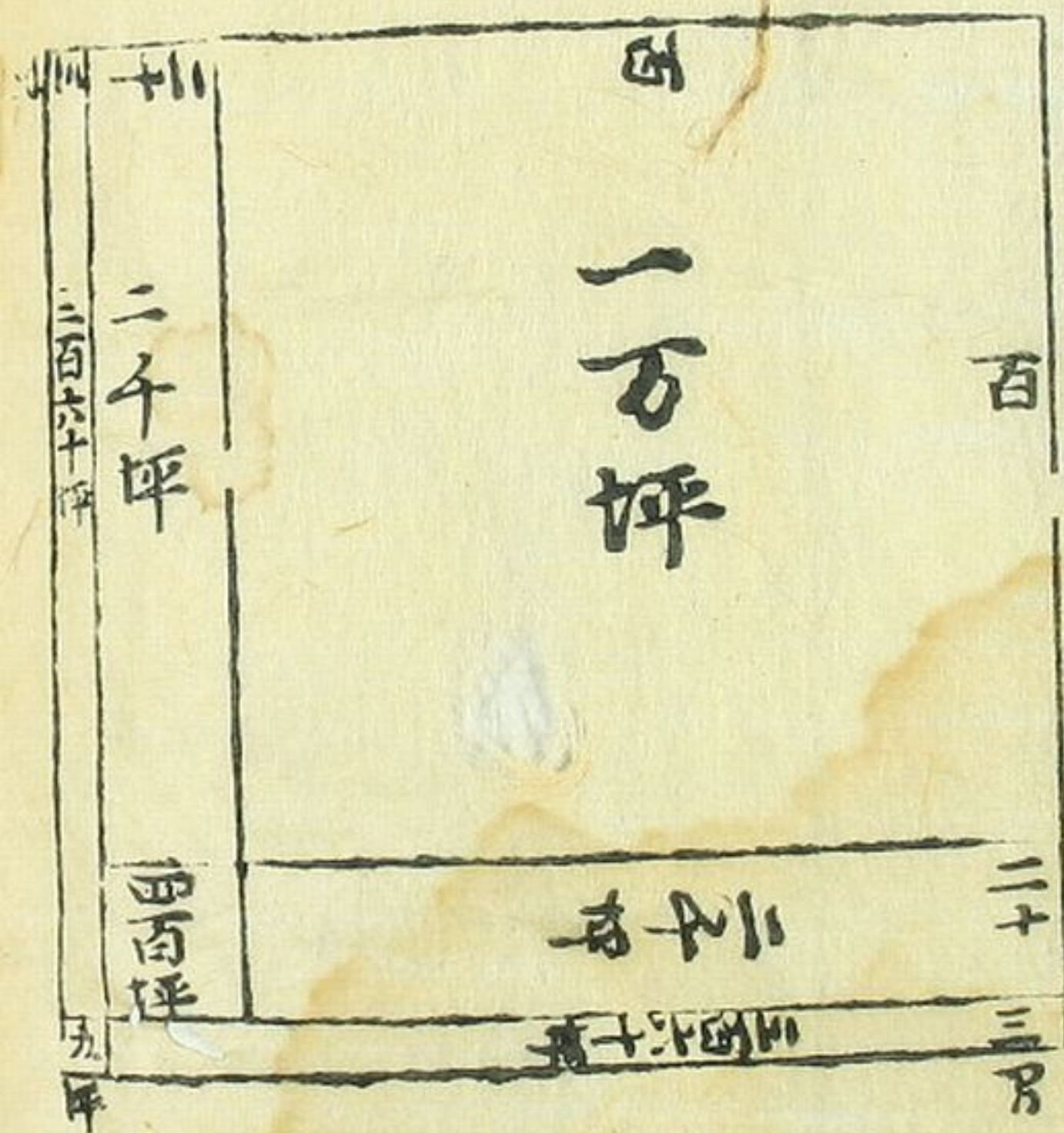
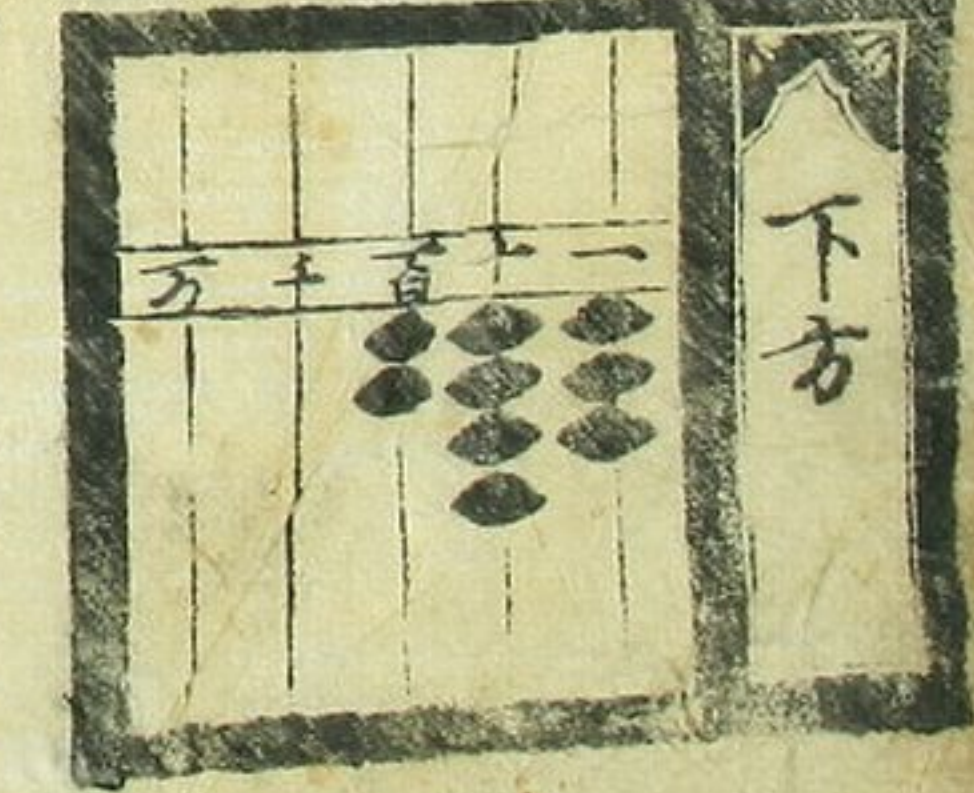
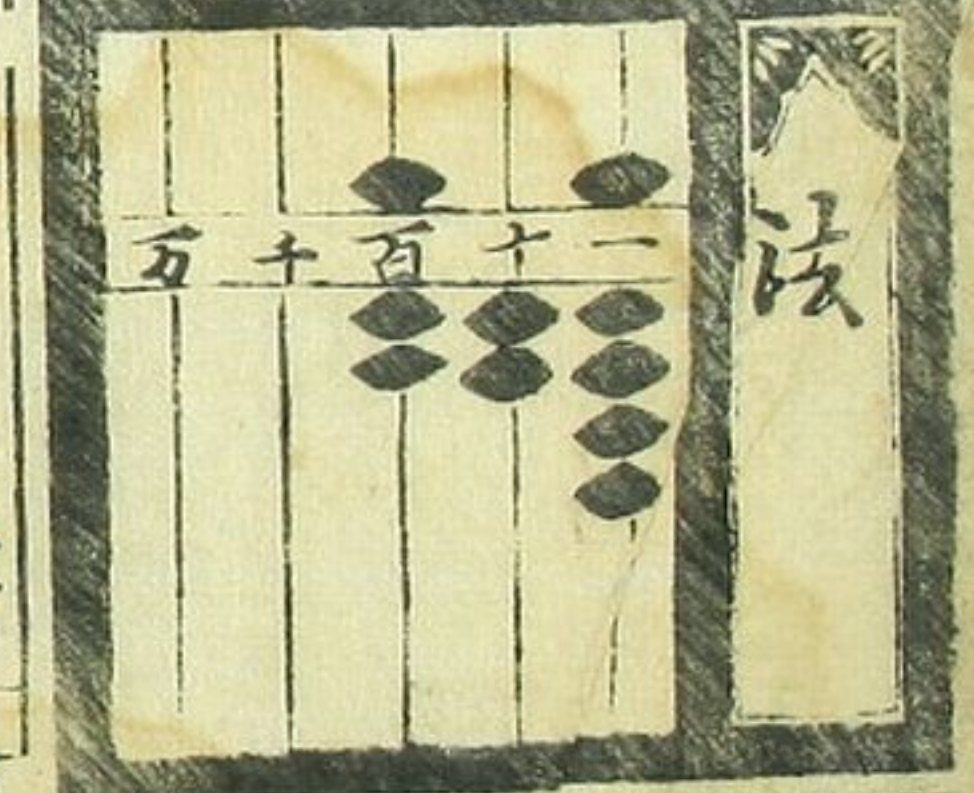
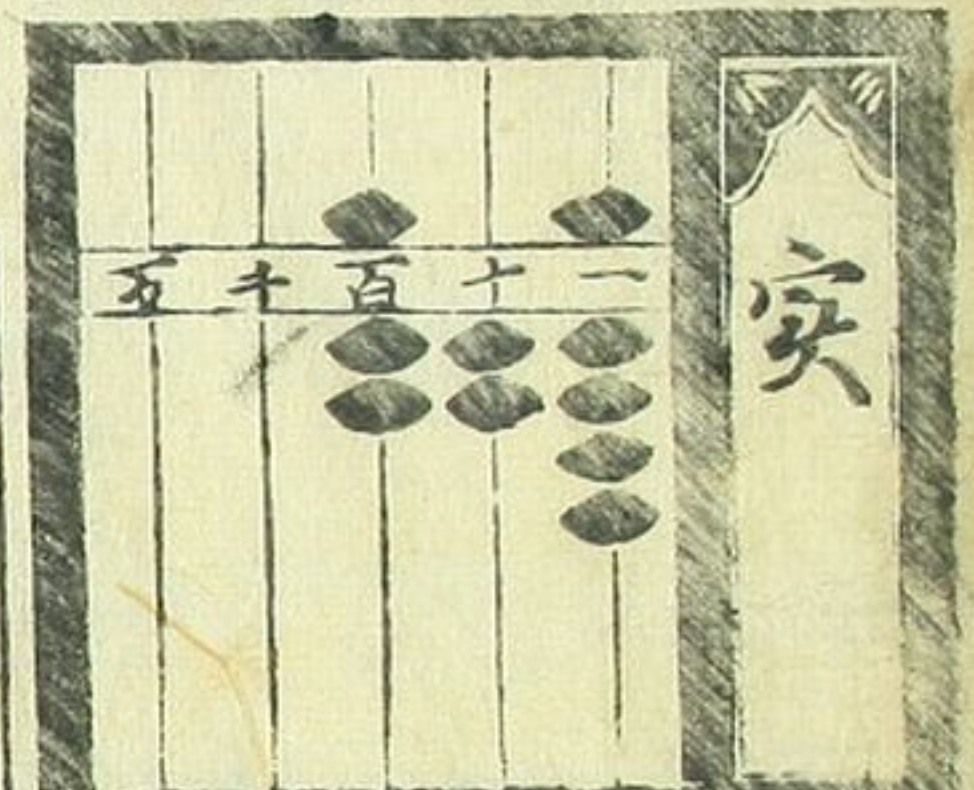
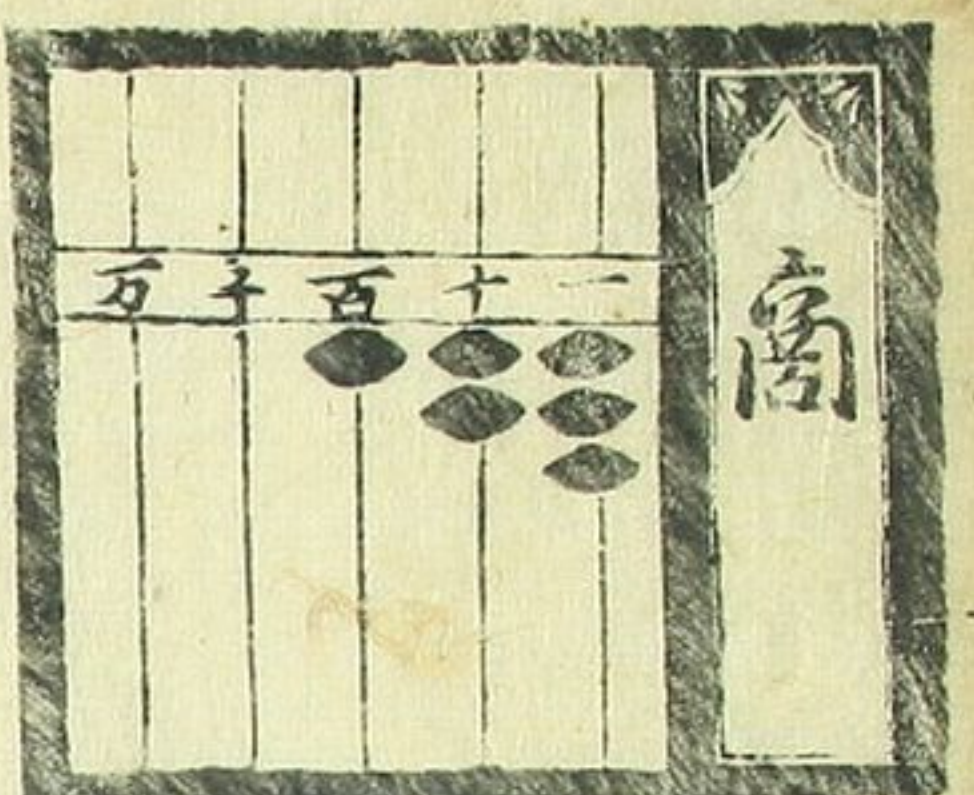
はよひふたぢり一万五千百廿九坪とてとせしむる
 実りてはらういとる二十百二十百とあるの
 してはよひふたぢりありある時まじりて
 つらひ首のくまうとせしむるはよひふたぢり
 びとありあり下方にて二十百とふたぢりありて
 首とせしむるはらうとせしむるはよひふたぢり
 してはよひふたぢり下方の首りうの
 してはよひふたぢり下方の首りうの
 してはよひふたぢり下方の首りうの
 してはよひふたぢり下方の首りうの

のこりて五千百廿九坪あり



はより南の百のははちよ二十とよまんとしたて
 下方より一〜のやけを百と一とらふに百と
 ろして下は二十とよまは二十の南は
 ありてよまんとしたてははちて下方の二百
 南の廿とよまに二の四千とけり
 下方の廿とよまに二の四百は
 とよまに心を実にせりあり

あて七百廿九坪あり



法より商の二十万坪を三とせしむればは下の法より
 下げて二十とせしむれば一で千とありて下の
 三とせしむれば商のやうにはとらるるに
 下の法よりしてはまたは又はより下げて
 下方乃二百の商のこととてふは三の百に法
 とすそ又下方は二の商の二とてふは三の
 九坪とてふはとてふは七百二十九坪とてふは
 実の七坪とてふは
 百二十三万四千方とてふは

一七

一七

才四十七 用平四角の事

一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる



一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる

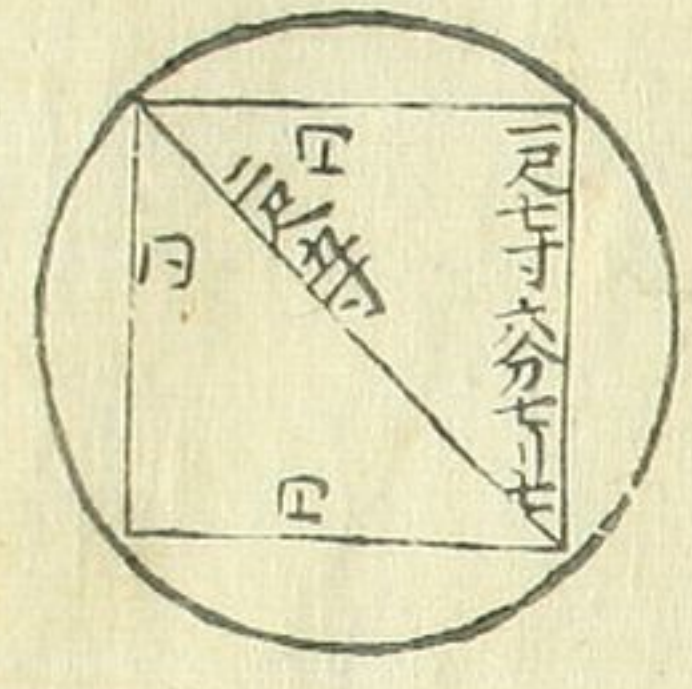


一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる

（用平四角の事）
 一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる

一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる

一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる一尺三寸四方の物とまゝくゑる



一尺七寸六分七厘四方の物とまゝくゑる一尺七寸六分七厘四方の物とまゝくゑる

一尺七寸六分七厘

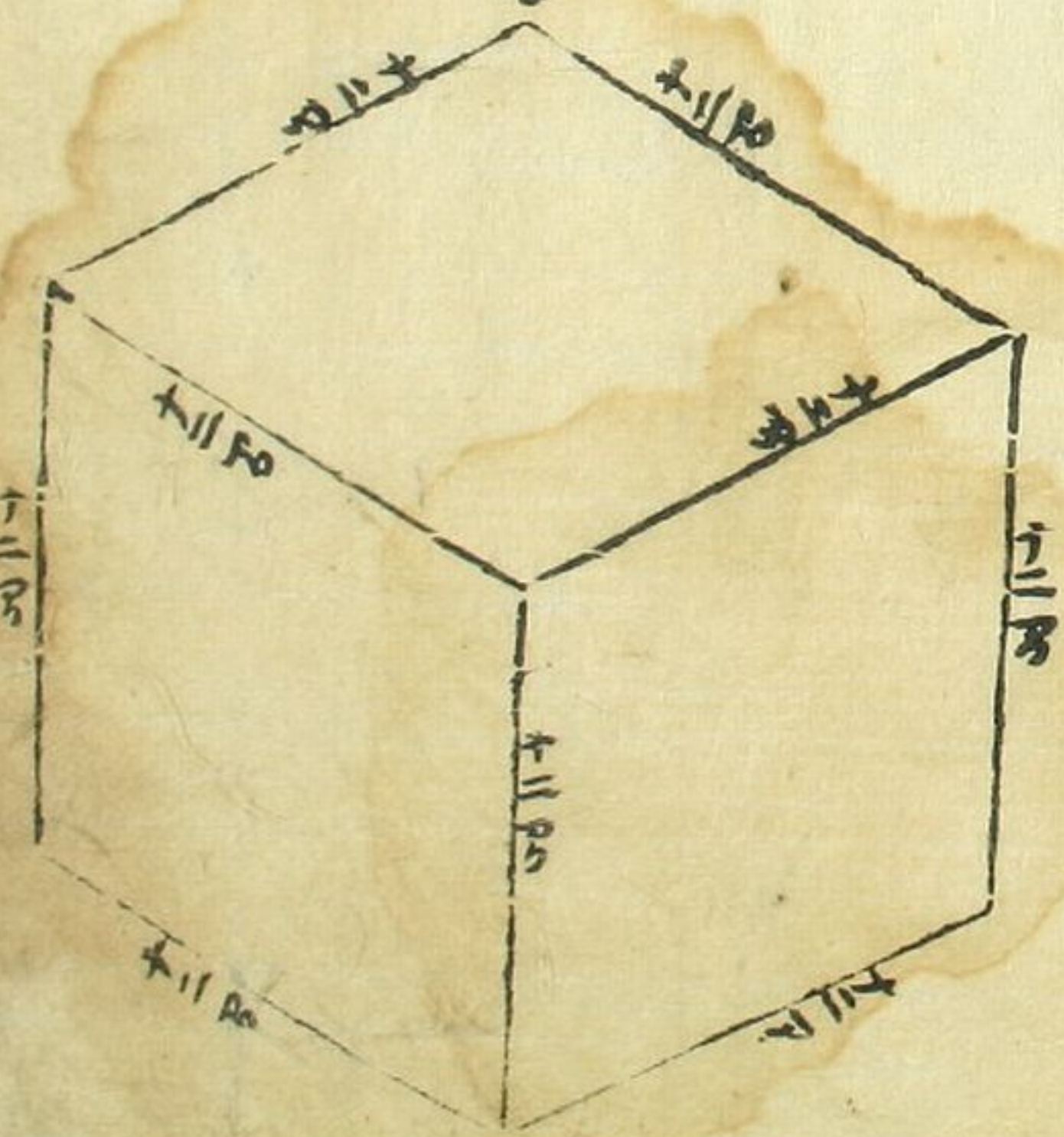
一尺七寸六分七厘

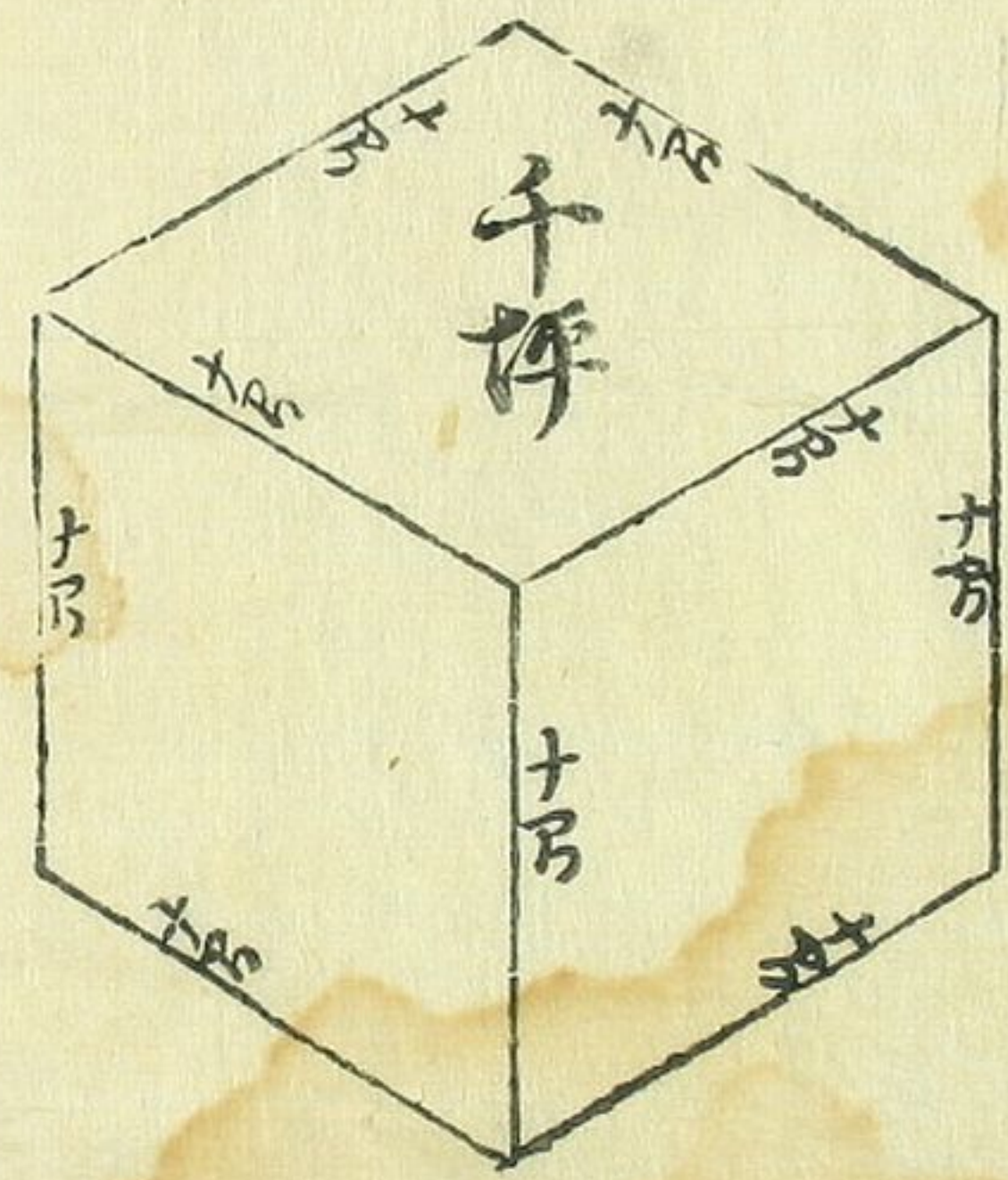
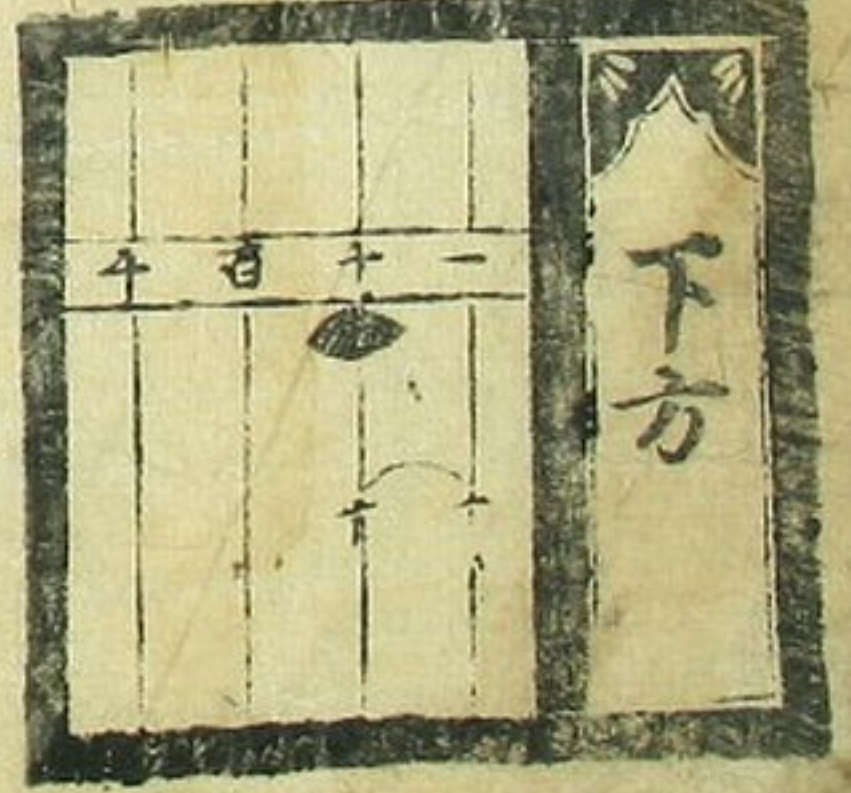
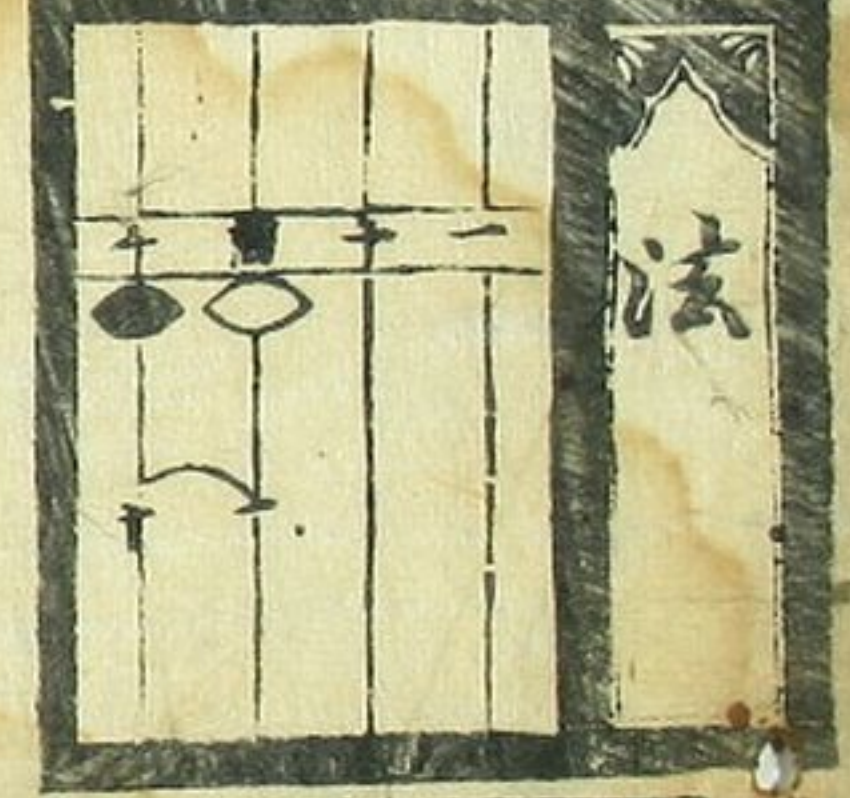
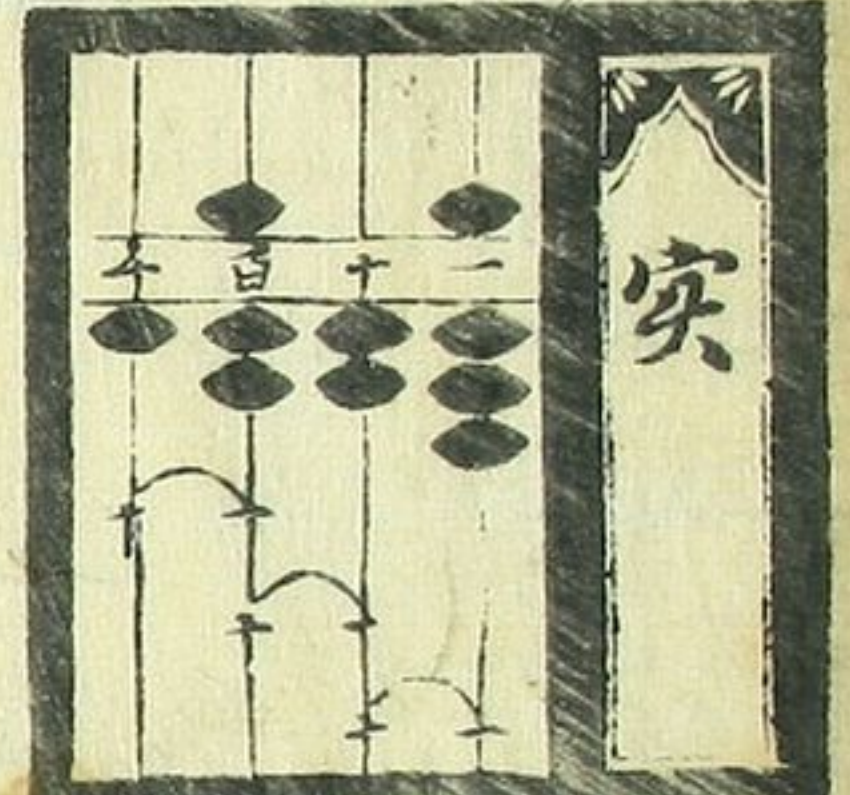
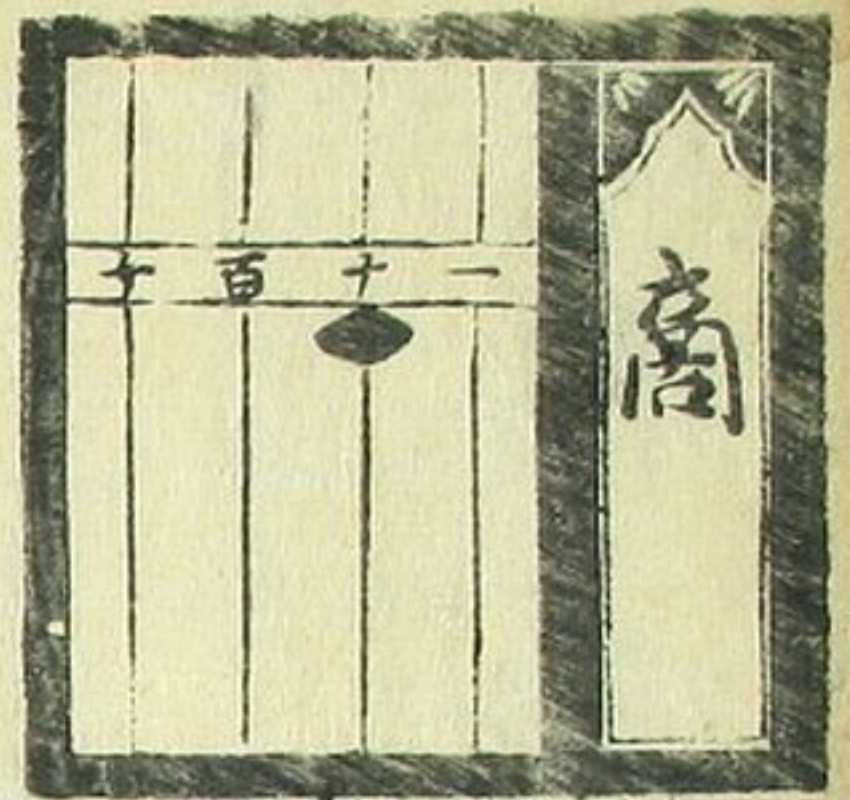
一 円すいの高さ一尺五寸あるまゝの本角が三寸附まるとして、
 高さ二尺の円すいがある附まるとして、
 その高さの差一尺五寸あるまゝの本角が三寸附まるとして、
 その高さの差一尺五寸あるまゝの本角が三寸附まるとして、
 その高さの差一尺五寸あるまゝの本角が三寸附まるとして、
 その高さの差一尺五寸あるまゝの本角が三寸附まるとして、

第四十八
 同法

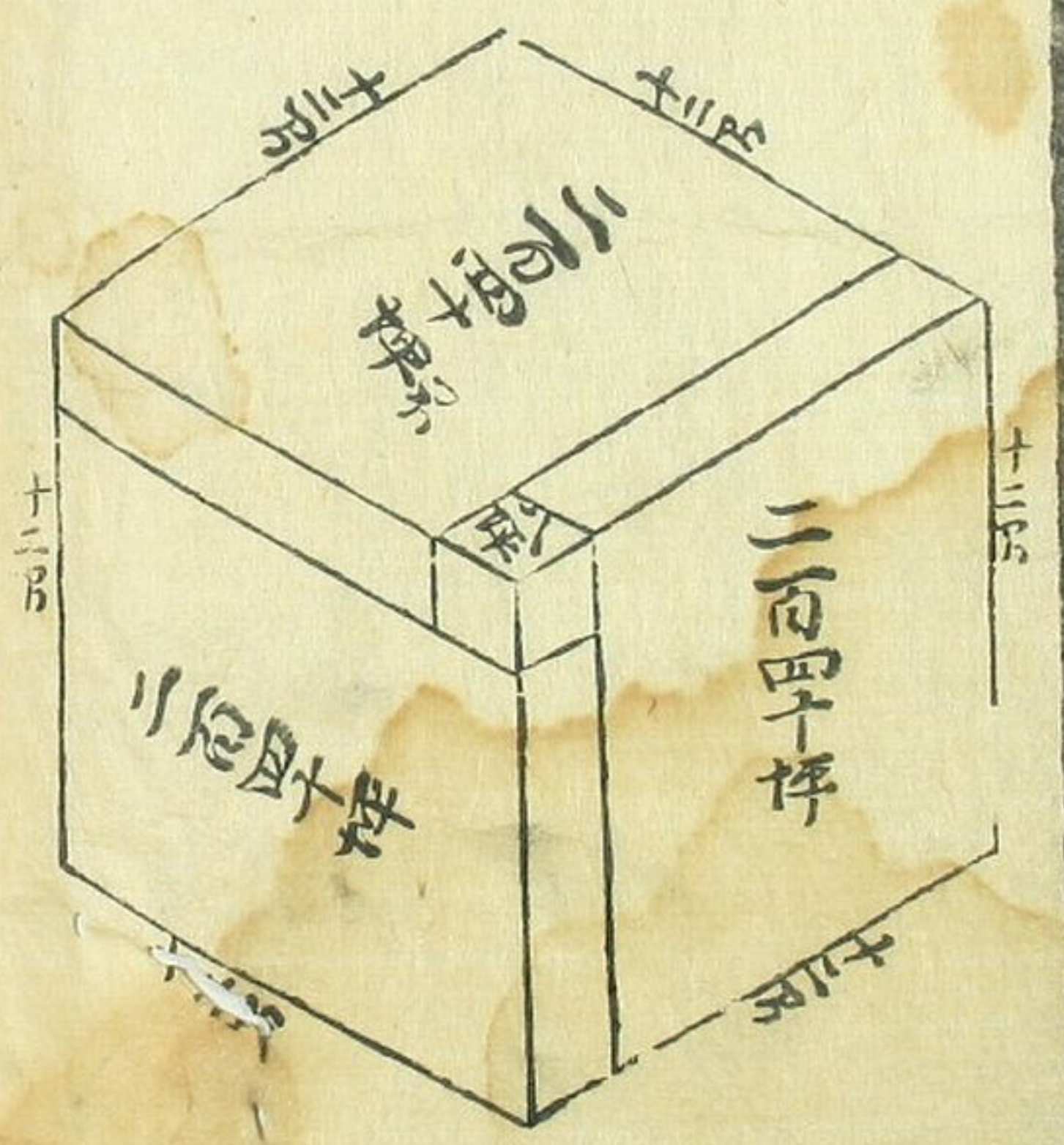
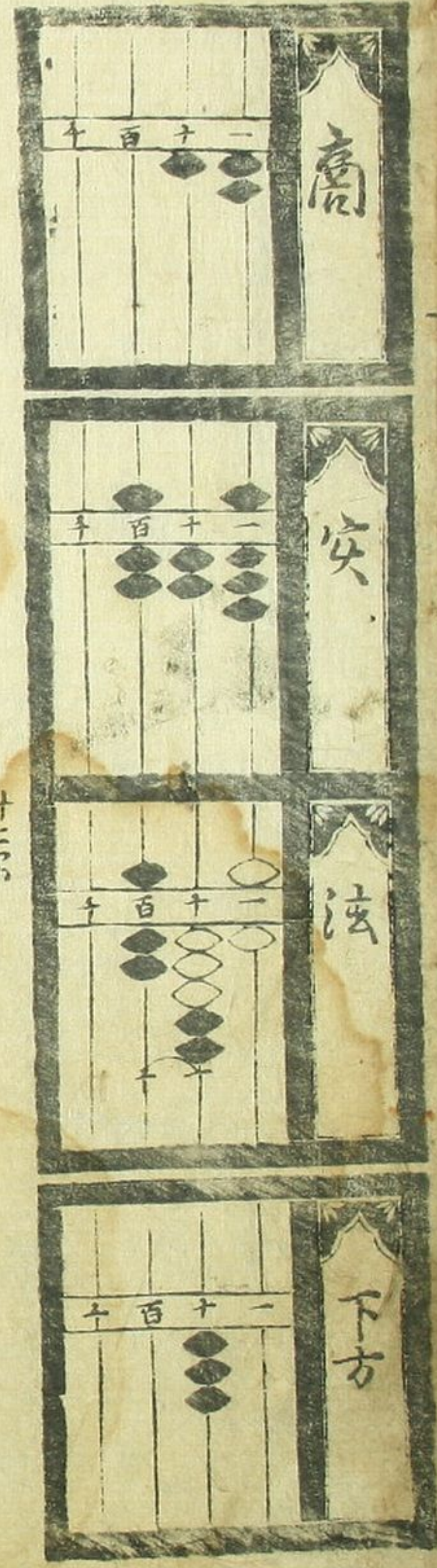
俵数 千七百十八俵あり、これを二とすと、
 千三百九十とあり、一をけよ、千三百九十とあり、
 千三百九十とあり、一をけよ、千三百九十とあり、
 千三百九十とあり、一をけよ、千三百九十とあり、

○十二万四千方





けよりいふ實より十者廿八呼とよまるとまろ實を
 ぐいをえる。二十二十とあらりい
 ますへてありかり時よ十とりあひ十のく
 まり高より十とあはて又下方より二十とあ
 して五でいける高の十とあはてあ
 きてはよりして下方の十と高の十をいふ
 二一の百とあはて又法の百より二十とあ
 ありして法の百と高の十をいふ一の呼
 ありしてこれを實とていふ
 の法して七百廿八呼あり



高は十の次ニ五折下方は十と三好倍成と一と一は
 又法は下方の成は高の十とよふ三三折成は法又法成
 乃次折て下方の成高は二とよふ三三の六と重又法の成
 くり二十とあらぬのりりそ法は成高の二とよふと成
 よふ三三の六百と重て又法は六より二十とせりり成
 ちちよ高は二とよふ三三の百七と重七百七は成
 実を引この成を八坪をこれといふ角引まるは
 高の二を引よも二と重きん法の二は高は二とよふ
 二の四とはおめて又これよ高の二を毎から成
 二の八坪とらる是と実してしき拂り

上
下

此新編塵劫記 吉田光由 開板樓
 梓以壽其傳自今以後行于世
 為算法指南者如合符節後生
 勉旃勿輕忽
 于時寬永第四曆龍集疆梧
 單關仲禮好日辰西嶺舜岳
 野釋 女光 以跡

算數の代りあはれぬ海よりくくもてわきまは
 以道より志す心代はたむくもて世り若
 ありありのすくも一志あるふ我まじり或師
 つまや池田乃書さうけて是を脈飾と願袖
 ことて其一二をさうりたる此師よきけり雨ふん
 りのか来あつめ十八巻と引てた乃一二こと
 上中下ことしてむねあつる人の初め日
 けいふ力あつたを又諸書をきぎんてせむら
 人は是さうつしりめて利のためふせり
 あきまうとてあはれぬのさき 此より

初製目付字終

童子 <small>トウシ</small> 盤 <small>ハシラ</small>	賓客 <small>ヒンカク</small> 履 <small>ハダカ</small>	瑠璃 <small>ルリ</small> 瑩 <small>ニシ</small> 鏡 <small>カガミ</small>	琥珀 <small>クワク</small> 饒 <small>ニシ</small> 官 <small>カミ</small>	月下 <small>ツキノ</small> 汲 <small>ヒキ</small> 酒 <small>サケ</small>	岳松 <small>ツクノ</small> 作 <small>シ</small> 帳 <small>テ</small>	野邊 <small>ノ</small> 吹 <small>フク</small> 笙 <small>セウ</small>
甲孔 盤	帝黃 鎧	顔蒼 字	公成 <small>コウ</small> 籟	帝黃 釜	陶阜 獄	怡蒙 箏
王紂 粉	儀包 弧	蒼帝 磬	帝莢 官	融祝 帝	帝黃 楫	帝莢 服
仲督 車	代陵西 碓	作舜 碁	帝黃 冠	王公太 錢	帝莢 甌	媯女 笙
帝黃 鼎	則於 履	帝黃 練	倫蔡 紙	代芒 羅	農神 芥	父靡 杵
康少 箕	成容 曆	毒尹 鏡	犧伏 獵	代晉赫 櫛	子莊孟 鋸	益伯 井
農神 鉞	帝黃 室	伯岐 膏	帝黃 灸	康杜 酒	犧伏 卦	犧庖 瑟
王武 席	真赤 春	農神 耜	帝黃 鞠	首隸 數	犧伏 嫁	犧庖 竈
婦女 筭	康少 帚	始帝莢 飯	帝黃 鞞	帝黃 鐘	始晉華 悵	人熾 輒
			帝黃	代鳥	帝武漢	曹鳥

あやまうしんちやる而やうしんち我書
 屋うひあしんちやるあまうしんち
 あるしと朱と墨とにせさうむむとれとれ
 初書うし失あうしんちあうしんちは
 師あだつひあうしんちあうしんちは
 ままは外十五乃まあうしんちあうしんちは
 人まあは初門うりうを室の門ア
 入りまうしんちあうしんちは



